

平成30年度

事業名	教育相談事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	938		報償金	858
	国補助			消耗品費	4
	府補助			通信運搬費(費用)	76
	市債				
	その他				
	合計	938			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	いじめや不登校等の学校に関することや子育ての悩み等についての相談を受け、子どもが健やかに育つようアドバイスを行う	メール相談や各小学校への出張相談をはじめとして、教育相談事業の充実を図る	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	通常相談 ・相談場所 大東市立キッズプラザ 2階 ・相談日時 平日の日中 4時間 ・相談方法 来室、電話、メール 出張相談 ・大東市内各小学校にて	通常相談 年間を通して、左記の要領での相談業務 出張相談 大東市内各小学校での相談業務	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	相談件数に対する対応率	独自	H32 100%
	人権行政の視点	学校以外にも相談機関が日常的に開設されることは、子どもの学ぶ権利を守るためにも重要である	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的 ・文化的・先進的な街づくりへの貢献 ・市のセーフティネットとしての役割	より丁寧な相談支援体制の構築	

平成30年度

事業名	英語教育推進事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-1	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	1,430		報償金	65
	国補助			消耗品費	861
	府補助			その他保険料	8
	市債			使用料及び賃借料	36
	その他	828		その他負担金	1,288
	合計	2,258			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	H32 年度から実施される小学校英語の教科化に向け、小学校を中心とした小・中学校の英語教育の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・大東市英語教育推進研修(年 5 回)を開催 ・Daito English Trial (英検受験助成) ・小学校英語教材「DREAM」活用 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・Daito English Trial (H29～) ・「DREAM」を市内 4 小学校で実施(H29) ・「DREAM」を市内全小学校で実施(H30) ・次期学習指導要領実施 英語教科化 (H32) 	<ul style="list-style-type: none"> ・AET ミーティング開催 (4 月)※年 10 回予定 ・「DREAM」活用支援研修 (6 月)※年 2 回予定 ・大東市英語教育推進研修(6 月)※年 5 回予定 ・Daito English Trial (10 月) ・中学校への授業参観 (10 月～) ・英語教育実施状況調査(12 月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
	中学 3 年修了時の英検 3 級取得率	KPI	H32 20%
	「DREAM」活用校における児童の英語に対する肯定的回答の割合	独自	H32 80%
人権行政の視点		子どもたちの国際理解教育を深める機会の拡充と、コミュニケーション能力の向上	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育の機会充実 ・英語教育の内容充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の英語でのコミュニケーション力を育成するため ・中学生の英語学習への意欲向上

平成30年度

事業名	不登校対策事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	8,759		報償金	8,422
	国補助			消耗品費	42
	府補助			通信運搬費(費用)	216
	市債			手数料(費用)	1
	その他			その他保険料	75
	合計	8,759		使用料及び賃借料	3

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	大東市立小・中学校における長欠・不登校児童生徒への支援、また未然防止の対応を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校指導員の学校派遣 ・大東市適応指導教室「ボイス」の運営 	
	長欠・不登校児童生徒数の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室「ボイス」の運営 開室は、火～金曜日(週4日) 情報交流会や訪問指導等も実施 ・学校への不登校指導員の派遣 ・不登校指導員交流会の実施 	

内容		目標	
指標	公立小中学校の不登校児童・生徒数(千人率)	総計	H32 小学校 2.0/中学校 25.0
		KPI	H32
		独自	
人権行政の視点		長欠・不登校児童生徒へのはたらきかけは、一人ひとりの学習権の保障につながる	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	長欠・不登校の原因は多岐にわたり、学校だけでの対応は難しくなっている中、支援の必要性が高まっている	心理や福祉の専門家、関係諸機関とも連携しながら、より効果的な支援を進める

平成30年度

事業名	特別支援教育充実事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	7,344		報償金	7,252
	国補助			消耗品費	10
	府補助			その他保険料	82
	市債				
	その他				
	合計	7,344			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	支援を必要とする児童・生徒に提供される合理的配慮等の質の向上をめざす	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育推進委員会の開催 ・支援教育にかかる研修や学習会の実施 ・巡回相談、発達相談の計画的な実施 	
	<p>全体のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小中学校(園)での巡回発達相談の実施 ・小中学校へ支援員の派遣 ・通級指導教室の充実 ・支援教育にかかる研修、学習会の実施 ・音楽療法の実施 	<p>今年度のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育推進委員会(6, 3月)に開催 ・コーディネーター研修(6, 7, 8, 12月)及び、学習会、研修会(4, 7, 8月)年4回程度実施 ・音楽療法(年8回)実施 ・通級指導教室担当者会(年10回)実施 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	巡回発達相談の申込への年度内の対応率	独自	H35
人権行政の視点		支援を必要とする児童生徒への支援の充実と保護者及び教員への相談活動の充実を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	支援教育の質の向上	すべての児童生徒が必要とする多様な学びの場における教育環境や支援体制の充実を図るため

平成30年度

事業名	学力向上推進事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-1	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	12,033		非常勤職員報酬	118
	国補助	1,050		報償金	3,001
	府補助			消耗品費	450
	市債			印刷製本費	200
	その他	3,306		その他保険料	38
	合計	16,389		事務業務委託料	11,758
				使用料及び賃借料	824

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	平成19年度からの全国学力・学習状況調査の着実な結果向上に対して、一層の上昇を図る	昨年度までに加え、大東教員スキルアップ講座、ふるさとジュニア検定、ビジョン策定委員会を実施。学校訪問指導及び外部アドバイザーの助言を活かす	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上ゼミ開講 ・大東まなび舎中学校8校開催 ・大東ステップアップ学習全校実施 ・市共通到達度確認テスト全校実施 ・全国学力学習状況調査等をふまえたH31以降の大東市教育ビジョン(仮)検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上ゼミ開講(年間40回土曜日4会場) ・大東まなび舎開催(中学校8校放課後) ・市共通到達度確認テスト(4月) ・大東教員スキルアップ講座(年間30回) ・ふるさとジュニア検定(1月) ・教育ビジョン策定委員会(年間5回) 	

内容		目標	
指標	全国学力・学習状況調査の標準化得点(全国を100とした数値)	総計	H32 100以上
		KPI	H32
		独自	
人権行政の視点		総合的教育力向上及び学習機会拡充は、学習意欲の喚起及び「生きる力」の基礎に寄与する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	大東市教育大綱における重点大綱1の達成	
		学習機会拡充、自学自習力向上、教員の授業力向上、児童生徒の学力向上を図り、全国学力・学習状況調査結果を向上させる	

平成30年度

事業名	家庭教育支援事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-1	予算書頁	

予算額(千円)			予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	11,721	非常勤職員報酬		21,492
	国補助	11,721	報償金		1,780
	府補助	1,232	費用弁償		66
	市債		普通旅費		20
	その他		消耗品費		750
	合計	24,674	食糧費		150
			印刷製本費		88
			その他保険料		60
			使用料及び賃借料		268

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	家庭教育支援チームを設置 家庭訪問、家庭教育に関する情報及び学びの場の提供等、家庭教育支援の活動を実施する	小学1年生全家庭訪問の実施(3回) 「いくカフェ」の実施(3回) サポーター(チーム員)養成	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	①地域協議会、基幹会議等の開催 ②相談・訪問チーム員への研修・養成講座 ③「いくカフェ」の企画・開催 ④家庭訪問の実施 ⑤相談・訪問チーム会議の開催 ⑥全体講演会の開催	①地域協議会、基幹会議等の開催 ②サポーター(チーム員)養成 ③全小学校区での「いくカフェ」開催(3回) ④小学1年生全家庭訪問の実施(3回) ⑤相談・訪問チーム会議の開催(月1回程度) ⑥全体講演会の開催	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	児童保護者と関わる(相談・訪問)件数	独自	H30
人権行政の視点		保護者が安心して子育てや家庭教育を行えるように支援することで子どもたちの健全な育成を推進する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	①全小学校区「いくカフェ」開催(3回) ②全小学1年生全家庭訪問の実施(3回) ③サポーター(チーム員)養成	

平成30年度

事業名	教育研究推進事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-1	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
一般財源	3,058	報償金		2,177	
国補助		消耗品費		335	
府補助		印刷製本費		72	
市債		手数料(費用)		120	
その他		使用料及び賃借料		354	
合計	3,058				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
大東市教育ビジョン後期基本計画に基づく、全市的な授業改善・授業研究の推進及び学校教育活動の一層の充実		大東市教育ビジョン最終年度として、全市的授業改善研修等の開催。次期学習指導要領を見据えたフォーラム、道徳研修等開催及び小中連携推進	
全体のスケジュール		今年度のスケジュール	
<ul style="list-style-type: none"> ・初任者、10年経験者研修開催 ・全校授業改善研究会開催 ・市教育研究フォーラム開催 ・教育委員会だより「えがお大東っ子」発行 ・教育資料、研究図書収集・設置 ・道徳研修、小中連携推進の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者、10年経験者研修開催(5～9月6回) ・授業改善研究会開催(5～2月各校3回以上) ・市教育研究フォーラム開催(8月2部制で実施) ・「えがお大東っ子」発行(年間5回) ・次期学習指導要領を見据えた研究図書設置 ・道徳研修(年間2回)小中連携研修(年1回以上) 		

内容		目標	
	総計	H32	
	KPI	H32	
授業改善を伴う校内研修の実施 (小学校12校・中学校8校)	独自	H32	6回
人権行政の視点	全校教職員が研究成果と課題を共有することで、児童生徒の豊かな教育活動に資する		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
目的	大東市教育ビジョン後期基本計画の着実な実施	児童生徒の確かな学力向上に向けた、教員の授業力及び指導力の質的向上と授業改善	

平成30年度

事業名	学校支援事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-1	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	12,946		非常勤職員報酬		3,336
	国補助			報償金		9,250
	府補助			その他保険料		360
	市債					
	その他					
	合計	12,946				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	各小中学校において、地域等の外部人材の計画的な支援により、学校の教育力の活性化を図る	・学校施行規則一部改正で「部活動指導員」が位置付けられたことにより部活動支援員の活用を拡充する 事務作業サポーターとしての活用も図る	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	各校からの申請及び活用計画に基づき、授業・クラブ・部活動、授業力向上や管理職への総合的な支援に、支援人材を派遣する	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へ実施要項を通知(4月) ・各校で支援員の活用(5月～3月) ・実施状況の中間確認(10月) ・実施報告(3月) 	

内容		目標		
指標		総計	H32	
		KPI	H32	
	市内全校において、外部人材による指導・支援を受ける	独自	H30	100%
	人権行政の視点	外部からの指導・支援を得ることで、地域と連携した教育の推進を図る		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学力や学校力の総合的向上 ・学校教育の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の教育課題と教育ニーズに応える 	

平成30年度

事業名	言語活動推進事業	区分	一般会計	
		款	教育費	
		項	教育総務費	
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費	
		総計	2-2-1	予算書頁

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	7,888		臨時職員給	7,584
	国補助			報償金	50
	府補助			消耗品費	84
	市債			手数料(費用)	78
	その他	4		使用料及び賃貸料	96
	合計	7,892			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	言語環境の一層の充実を図り、「確かな学力」と「言語力の育成」を図るため、小中学校弁論大会開催と学校図書館司書を配置	弁論大会開催と学校図書館司書の配置	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・大東市小中学生弁論大会開催 ・読書活動の推進と充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館司書の配置(6校) ・学校図書館司書連絡会(5月)※年9回予定 ・学校図書館教育担当者会(6月)※年2回予定 ・図書館を使った調べるコンクール(8月～) ・弁論大会開催(11月) ・次年度配置に向けてのヒアリング(2月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	弁論大会応募者数の割合	独自	H32 100%
	人権行政の視点	大東市小中学生弁論大会の取組を通して、友人や家族、地域社会など他者とのつながりを考える	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	学力向上の強化	読書習慣の定着、言語力の向上を図るため

平成30年度

事業名	小中一貫教育モデル校プロジェクト事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-3	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	4,960		非常勤職員報酬	4,800
	国補助			報償金	45
	府補助			費用弁償	10
	市債			消耗品費	105
	その他				
	合計	4,960			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	・小中一貫教育に関するモデル校区(北条中学校区)における実践、研究	・推進コーディネーターの配置 ・推進会議、合同研修会の実施	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	・校区として9年間を系統立てたカリキュラムの作成 ・公開研究発表会の実施による情報発信	・校区として9年間を系統立てたカリキュラムの作成 ・アクセスプラン(小学6年生による中学校登校)の実施 ・中間報告会の実施	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	小6から中1にかけた不登校増加率	独自	H32
			2.0倍以下
人権行政の視点		・9年間の系統立てた人権教育カリキュラムの作成 ・小中一貫した郷土教育の推進	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	小中一貫教育における成果と課題の抽出	大東市にとって特色ある、最適な小中一貫教育の在り方を構築するため

平成30年度

事業名	総合的教育力活性化事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	中学校費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育指導費		
		総計	2-2-3	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	1,643	報償金 費用弁償 事務業務委託料	381	
	国補助			48	
	府補助	286		1,500	
	市債				
	その他				
	合計	1,929			

内容	全体の事業計画	今年度の事業計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域の連携強化 ・地域教育の活性化 ・教育コミュニティづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区地域教育協議会(すこやかネット)の活動支援 ・学校支援コーディネーターの活動支援
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育活動に関する事業 ・学校支援コーディネーターを核とした、学校・家庭・地域の連携を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域教育協議会事務局会議の開催 ・各地域教育協議会主催行事の開催 ・学校支援コーディネーター研修会の実施 ・総合的教育力活性化事業全体会の開催 	

指標	内容	目標		
		総計	H32	
		KPI	H32	
	地域教育協議会主催行事への参加人数(延べ)	独自	H32	16,000人
人権行政の視点	学校及び地域コミュニティの活性化を図り、世代を超えた豊かな人間関係の構築を推進する			

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	小中一貫教育における成果と課題の抽出

平成30年度

事業名	学校通学路整備事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 学校管理課	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	1,847		事務業務委託料	1,847
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	1,847			

内容		全体の事業計画	今年度の事業計画
		大東市内全小学校の通学路の点検を実施	通学路の点検業務を実施
		全体のスケジュール	今年度のスケジュール
		通学路の点検業務を実施	通学路の点検業務を実施(2月)

指標		内容	目標
			総計 H32
			KPI H32
		新たに指定された通学路の整備進捗率	独自 H32 100%
		人権行政の視点	通学路の安全整備を行い安全性の確保を図るとともに交通ルールの遵守の認識を徹底させる

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	学校通学路の安全対策の強化	学校通学路について安全性向上に必要な対策を計画的かつ着実に実施する

平成30年度

事業名	青少年健全育成事業(野崎)	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	青少年教育センター費		
		総計	2-1-3	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	1,241		報償金	842
	国補助			費用弁償	2
	府補助			普通旅費	10
	市債			消耗品費	331
	その他	202		事務業務委託料	75
	合計	1,443		使用料及び賃借料	183

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	青少年の健全育成、人権教育の推進等を目的とした事業展開	社会体験、自然体験事業および人権教育等各種事業の実施	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	・年間 書道教室、自然・社会見学、工作教室、料理教室、地域交流活動、お祭り・イベント、有償ボランティア事業、機関誌発行 ・夏期 ふしぎ発見教室、キッズ・あーとクラブ、人権教室	・年間 各種事業企画案作成、講師選定、会場設定、材料購入等準備、調整作業 事業実施 事業終了後の検証	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	事業への参加率	独自	H30 90%
	人権行政の視点	児童デイサービスや教室事業を通じて、他人との協力、思いやりの心や規範意識を育む	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	従来 of 事業内容の見直し及び新規事業の展開	青少年の健全育成及び人権意識の高揚を図る

平成30年度

事業名	青少年健全育成事業(北条)	区分	一般会計	
		款	教育費	
		項	社会教育費	
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	青少年教育センター費	
		総計	2-1-3	予算書頁

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	1,099		報償金	801
	国補助			消耗品費	157
	府補助			燃料費	5
	市債			賄材料費	100
	その他	108		使用料及び賃借料	88
	合計	1,207		庁用器具購入費	56

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	青少年の健全育成、学習・文化・スポーツ、人権教育の推進等を目的とした事業展開	教室体験、生涯学習・イベント事業および人権教育等各種事業の実施	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
内容	学力向上ゼミ、習字・農園・ダンス・音楽・料理・スポーツ・工作・異文化などの教室。北条ふれ愛フェスティバル・夏の夕べなどのイベント。センターこどもまつり&ライブなどの有償ボランティア事業。地域交流活動。機関誌発行。人権学習	各種教室事業企画案作成、講師選定、材料購入等準備、事業実施、事業終了後の検証	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	事業への参加率	独自	H30 90%
	人権行政の視点	自主的活動や教室事業等を通じて、協力、思いやりの心を育む。新規登録説明会で人権啓発を進める	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	事業内容の充実及び新規事業の展開	
		青少年の居場所づくりと人権問題の解決をめざした青少年健全育成を図る	

平成30年度

事業名	放課後子ども教室推進事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	社会教育総務費		
		総計	2-1-3	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	483		報償金 消耗品費	1,328
	国補助				120
	府補助	965			
	市債				
	その他				
	合計	1,448			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	全小学校で放課後に小学校の余裕教室を活用し、地域住民の参画を得ながら子どもの安全・安心な居場所づくりを実施	市内 12 小学校で学校に関わる地域の実情に応じて、将棋教室・学習教室等を実施。放課後児童クラブとの連携も図っていく	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	4 月:各小学校へ実施内容の意向調査実施。安全管理員、コーディネーター、実施内容が決定次第、各小学校で実施。毎月末に学校長より、活動報告 2 月:運営委員会実施(次年度事業について等)	市内 12 小学校で実施 (将棋教室、読み聞かせ、英語教室、学習教室等)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	教室開催日数回数	独自	H30 750 回
	人権行政の視点	子どもの人権が尊重され、安全・安心な場所で感性豊かに健やかに成長できる環境づくりを図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	市内 12 小学校での事業の充実を図り、放課後児童クラブとの連携を図る	事業の充実に向けて、学校・放課後児童クラブとの情報共有や教室講師の紹介等の連携を行う

平成30年度

事業名	子どもの安全見守り事業	区分	一般会計	
		款	教育費	
		項	社会教育費	
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	青少年対策費	
		総計	2-2-2	予算書頁

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	1,028		消耗品費	886
	国補助			食糧費	50
	府補助			その他保険料	92
	市債				
	その他				
	合計	1,028			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	子どもたちの登下校時に通学路を中心に、保護者・地域住民・学校が見守り活動を行うことで、不審者等から子どもたちを守る	見守り活動に必要なベスト、ジャンパーなどの物品の支給を行う。また、四條畷警察署と連携して見守り活動の在り方研修を順次実施する	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	見守り隊の参加人数の意向調査 見守り活動に必要な物品の意向調査 各小学校へ物品の支給 見守り隊への研修実施 活動継続者へ感謝状の贈呈 見守り隊傷害保険加入	見守り活動の視察 見守り活動に必要な物品の支給 見守り隊の研修実施 見守り隊への感謝状の贈呈 見守り隊傷害保険加入	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	見守り活動への参加者数	独自	H30 4,200人
	人権行政の視点	青少年の健全育成のために、日常の声掛けなどを通し、豊かな心を育て、平和なまちづくりを目指す	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	地域住民の参画により、地域全体の安全な環境づくりに効果がある	子どもたちの登下校の安全確保のため、見守り活動を支援する

平成30年度

事業名	文化財保護整備事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	文化財保護費		
		総計	4-2-1	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
一般財源	1,608	臨時職員給 事務業務委託料		1,558	
国補助				50	
府補助					
市債					
その他					
合計	1,608				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	多様な方法で地域文化資源の保存と活用を図り、文化財行政を推進していく	<ul style="list-style-type: none"> 平野屋新田会所跡活用の推進と水路・樋門調査 中垣内遺跡発掘出土遺物の整理 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	【平野屋新田会所跡】 ・整備活用案(H30)・整備計画案(H31) 【中垣内遺跡発掘調査報告書】 ・刊行(H33)	【平野屋新田会所跡】 ・平野屋新田会所サポーター活動支援(年間) ・整備活用案作成に係る調整(年間) 【中垣内遺跡】 ・出土遺物整理(年間)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	中垣内遺跡発掘調査報告書の進捗率	独自	H33
	100%		
人権行政の視点		まちの歴史を知ることによって愛着が生まれ、よりよいまちづくりに参画する意思の向上に寄与する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	本市の歴史を知ることによって、市民に愛着と誇りをもってもらい、定住化を促進する	身近にある文化財を守り、後世に伝えていく

平成30年度

事業名	飯盛城跡保存整備活用事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	文化財保護費		
		総計	4-2-1	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	4,535		臨時職員給	1,705
	国補助	4,265		報償金	204
	府補助			費用弁償	36
	市債			普通旅費	93
	その他	120		消耗品費	50
	合計	8,920		印刷製本費	40
				通信運搬費(費用)	10
				事務業務委託料	6,701
				その他負担金	81

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	飯盛城跡の国史跡指定と指定後の保存と整備、活用を行い、本市の歴史的シンボルや観光資源として活用を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣・遺構の確認調査、文献史料調査の実施 ・総合調査報告書の作成 ・報告会・現地説明会の開催 ・史跡範囲の確定 ・指定について地権者等への説明と同意の取得 	
	<p>全体のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認調査・文献史料調査・航空測量調査(H28~30) ・総合調査報告書作成(H30~31) ・地権者説明(H30~32) ・意見具申(H32) ・史跡・管理団体指定(H33) ・保存活用計画・公有化・整備(H33以降) 	<p>今年度のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石垣・遺構の確認調査(11月~2月) ・文献史料調査(年間) ・総合調査報告書作成(年間) ・専門委員会(7月) ・報告会(7月)・現地説明会(確認調査期間中) ・史跡範囲の確定(8月) ・地権者等への説明(年間) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	飯盛城跡の国史跡指定	独自	H33
	人権行政の視点		100%
	まちの文化・歴史に触れ、愛着を持つことで、支え合うまちづくりに参画する意思の向上に寄与する		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	国史跡指定に向け、学術的な調査を進め、成果を広く周知することで、市民の愛着を高め、定住促進に繋げる	身近にある文化財を守り、後世に伝えていく

平成30年度

事業名	市民文化自主事業	区分	一般会計	
		款	教育費	
		項	社会教育費	
所属(部) (課)	生涯学習部	目	総合文化センター費	
	生涯学習課	総計	4-2-2	予算書頁

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	8,000		その他団体補助金	8,000
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	8,000			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市民が参画する自主事業として、優れた舞台芸術を市民にとって最も身近な公共ホールであるサーティホールで開催する	市民団体の代表からなる実行委員会で、事業内容や事業計画について検討し、事業を実施する	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	年間 5~6 回の公演を開催する	①舞太鼓「あすか組」+地元和太鼓集団「魁」 ②無料公開リハーサル「大阪交響楽団」 ③0歳から楽しむファミリーコンサート ④ワインコンサート ⑤みんなのうたコンサート	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	公演入場者数	独自	H30 3,500人
	人権行政の視点	芸術文化を通じて学びと交流を促し、相互理解と共生のまちづくりに寄与する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	多様な文化に触れる機会を提供し、芸術文化を通じて学びと交流を深める	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を市民に提供する

平成30年度

事業名	市民文化振興事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	総合文化センター		
		総計	4-2-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	3,302		事務業務委託料	3,302
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	3,302			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市民が広く参加する大東市民文化祭を総合文化センターで行う。舞台の部、展示の部、子ども会関係の展示がある	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台:舞踊、詩吟、謡曲、ダンス、コーラス他 ・展示:音、絵画、生花、写真、俳句、手工芸、子ども会フェスティバルのポスター他 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	第63回大東市民文化祭 開催日:11月1日(木)~4日(日) 会場:大東市立総合文化センター	6月広報で出展、出演募集 参加団体からなる市民文化祭実行委員会で実施に向けて、内容等検討する	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H30 47,000人
	人権行政の視点	芸術文化を通じて学びと交流を促し、相互理解と共生のまちづくりに寄与する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の振興 ・市民の生涯学習の推進 	日頃生涯学習活動を行っている市民の成果発表の場や団体交流の場を提供する

平成30年度

事業名	市民体育大会委託事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	保健体育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費		
		総計	2-1-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)		
	一般財源	1,962		賞賜金		97
	国補助			事務業務委託料		1,865
	府補助					
	市債					
	その他					
	合計	1,962				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市民の健康増進とスポーツの普及・発展のため、体育協会に委託して、17競技の大会および総合開会式を開催	春の部 11種目と秋の部 8種目の競技大会を市民体育館等で開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	【競技種目】17競技 卓球、バスケットボール(春・秋)、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、相撲、バドミントン、グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーボール、カローリング、バレーボール、空手道、剣道、柔道、山岳、テニス、ゲートボール	<ul style="list-style-type: none"> ・「春の部」募集(4月) ・総合開会式 (5月) ・「春の部」開催(5月～7月) ・「秋の部」募集(9月) ・「秋の部」開催(10月～12月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H32 5,000人
	人権行政の視点	スポーツを振興することで、健康維持および地域コミュニティの形成を目指す	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	・スポーツの振興 ・市民の健康増進と生涯スポーツの推進	競技団体に加盟していない市民の参加を促し、スポーツ人口の拡大および競技力の向上を図る

平成30年度

事業名	スポーツ団体育成事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	保健体育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費		
		総計	2-1-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	1,512		事務業務委託料		1,512
	国補助					
	府補助					
	市債					
	その他					
	合計	1,512				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	体育協会加盟の17団体が年間を通じて、 団体毎に「スポーツデー」として、競技会、講習会、指導教室等を開催	「スポーツデー」として、競技会、講習会、指導教室等から選択して開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	教室および講習会等のスポーツ事業、スポーツ団体育成事業および指導者養成事業 (H30.4月～H31.3月)	・各競技連盟開催内容検討(4月) ・「スポーツデー」開催(H30.4月～H31.3月) ・実績報告書提出(終了後)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H32 3,000人
	人権行政の視点	スポーツを通じた市民交流の中で、市民が認め合い、互いを尊重できる意識の醸成を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	・市民スポーツの振興 ・各競技連盟の育成	初心者から競技者までを対象としたスポーツ教室や講習会等を行い、競技力向上や指導者養成、参加者同士の交流等スポーツの普及を図る

平成30年度

事業名	大東市ニュースポーツフェスティバル事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	保健体育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費		
		総計	2-1-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)		
	一般財源	118		事務業務委託料		470
	国補助	235				
	府補助	117				
	市債					
	その他					
	合計	470				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	障害者(児)スポーツのデモンストレーション、ニュースポーツ体験の2部構成で開催	障害者(児)スポーツのデモンストレーションの選定と開催、ニュースポーツの体験を開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	【事業開催予定日】 日時:平成31年3月9日(土) 13:00~16:00 場所:大東市立市民体育館	・デモンストレーションの選定(8月) ・事業の開催(3月) ・実績報告書提出(終了後)	

内容		目標		
指標		総計	H32	
		KPI	H32	
	参加者数	独自	H32	150人
	人権行政の視点	障害者と健常者が共にスポーツを楽しむ機会を提供することで、互いの人権への意識を向上していく		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	・障害者(児)スポーツの普及 ・生涯スポーツの推進	体力に応じて楽しめるニュースポーツを体験する機会を提供することで、障害者(児)スポーツの普及促進とノーマライゼーションへの意識向上を図る

平成30年度

事業名	市民マラソン大会事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	保健体育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費		
		総計	2-1-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	922		報償金	80
	国補助			賞賜金	28
	府補助			消耗品費	10
	市債			印刷製本費	27
	その他	240		事務事業委託料	999
	合計	1,162		使用料及び賃借料	18

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	小学生から高校生、大人まであらゆる世代の人が参加できるよう年齢・距離別に15種目の競技大会を実施する	・第44回大東市民マラソン大会を開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	【事業開催予定日】 日時:平成30年11月18日(日) 9:00~11:00 雨天予備日 平成30年12月2日(日) 場所:大阪府営深北緑地	・深北緑地使用許可申請書提出(5月) ・委託業者契約締結(7月) ・広報活動開始(8月) ・参加者募集(9月) ・大会開催(11月) ・委託業者変更契約締結(12月)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H32 800人
	人権行政の視点	スポーツを通じてあらゆる年代の人とふれあうことの大切さを知り、互いに尊重し合う気持ちを育てる	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	競技力の向上と市民の健康保持・増進を目指す	幅広い年齢層の市民が気軽に参加することができるよう事業の推進を図る